

Image of the Deities

神々の姿

神と仏が織りなす美

2016年 5月28日(土) — 7月24日(日)

作品保護のため一部展示替えを行います

前期 5月28日(土)～6月26日(日) **後期** 6月28日(火)～7月24日(日)

開館:午前10時～午後5時(入館午後4時30分まで)

主催:公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

協力:春日大社、春日大社第六十次式年造替記念奉祝行事実行委員会



展覧会を鑑賞するにあたって キーワード

【1】

しん ぶつしゅうごう

神仏習合

日本の旧来からの神祇信仰と仏教が混ざり合って生まれた信仰。
奈良時代には神社に神宮寺が併設されて、神社の管理・運営も僧侶が行うようになっていきました。
さらに、もともと形を持たなかった日本の神が仏像の影響を受け、
造形化されるようになります。それが「神像」です。
京都・松尾大社の男・女神坐像(3軀)や
奈良・薬師寺の僧形八幡神・女神坐像(3軀)などが有名です。

【2】

ほん じ すい じゃく ほん じ ぶつ

本地垂迹 / 本地仏

日本の八百万の神々は、仏が化身して現れたとする思想で、平安時代後期以降に盛んになりました。
「本地」とは本来のあり方(姿)、「垂迹」とは迹を垂れる、
すなわち神仏が姿を現すことをいいます。
神の本来の姿(本地仏)が設定され、定着していきました。
神の方は「垂迹神」と呼ばれます。

指定No. 作者	名称	員数	品質	時代	所蔵	展示替
1				室町時代(15世紀)		掛替
2				鎌倉時代(13世紀)	奈良国立博物館	掛替
3				鎌倉時代(13世紀)		■
4				鎌倉時代(13~14世紀)		□
5				室町時代(15世紀)		□
6				鎌倉時代(14世紀)		■
7				鎌倉時代(13~14世紀)		□
8				鎌倉時代(13~14世紀)		■
9				平安~鎌倉時代(10~13世紀)		
10				鎌倉~南北朝時代(13~14世紀)		
11				江戸時代(17~18世紀)		
12				鎌倉時代(13~14世紀)		巻替
13				平安時代 嘉承3年(1108)		
14				南北朝~室町時代(14~16世紀)		掛替
15				江戸時代(17世紀)		掛替
16				室町時代(14~15世紀)		6/25~7/24
17				鎌倉時代(13~14世紀)		■
18				室町時代(14~15世紀)	奈良・春日大社	□
19				南北朝時代(14世紀)	奈良国立博物館	6/11~6/24
20				鎌倉時代(13~14世紀)	奈良国立博物館	5/28~6/10
21				鎌倉時代(14世紀)	奈良国立博物館	■
22				鎌倉時代(13世紀)		
23				室町時代(16世紀)	奈良国立博物館	□
24				鎌倉時代(13世紀)	奈良国立博物館	
25						巻替
26				江戸時代 文化4年(1807)頃	奈良・春日大社	
27				室町時代 応永7年(1400)		
28				江戸時代(17世紀)		□
29				江戸時代(17~18世紀)		巻替
30				江戸時代(17世紀)		■
31				江戸時代(17世紀)		
32				江戸~明治時代(19世紀)		
33				桃山時代(16世紀)		□
34				明治時代(19世紀)		
35				明治時代(19世紀)		
36				江戸時代(18世紀)		
37				江戸時代(17~18世紀)		
38				平安時代(12世紀)		
39				室町時代(15~16世紀)		
40				江戸時代(17~18世紀)		
41				鎌倉時代(12世紀)		■
42				鎌倉時代 建仁元年(1201)		□
43				鎌倉時代(13世紀)		
44				江戸時代(17~18世紀)		
45				鎌倉時代(13世紀)		□
46				室町時代(15世紀)		□
47				室町時代(15~16世紀)		巻替
48				室町時代(14~15世紀)		■
49				室町時代(15~16世紀)		■
50				江戸時代(17世紀)		■
51				江戸時代(■
52						□